



長綱 茂雄

Nagatsuna Shigeo

コンサルティング顧客と
打ち合わせをしている様子



リサイクルショップ事業で
出品される予定の商品



長綱 茂雄さん(蒜山)

人と会社を支援して27年。マーケティング会社、AI開発会社、福祉事業などを運営。地元真庭市を中心に「まちをオモシロク」をコンセプトに事業に取り組んでいる。休みの日も仕事のことを考えているが、一人の時間や家族の時間も大切にしている。

真

MANIWA BITO

庭人

きっかけはオンラインでの相談対応だった

コンサルティングや福祉事業など、幅広く活躍されている長綱さん。起業した当時、コンサルティングでは関係者を通じて連絡が返ってくるのが2、3日はかかるような状況でオンラインでの相談対応をしていたそうです。最初は無償で対応していたが、もつと教えてほしいという声が増え、ビジネスへと展開。自分自身がやりたいことではなく、顧客が求めていることを理解し、それを形づくるためにサポートすることを心がけていると言います。福祉事業を新たに始めたのは、起業する前に9年間勤めていた福祉施設で、障がい者の自立支援をしていた経験があったからだそう

まちをオモシロクしたい思いから

です。「コンサルティングも会社や個人事業主の支援をするため、内容は違っていても、やっていることは同じ支援ではないかと思ったことがきっかけでした」と語ります。福祉事業を始めてからは、より社会の課題に目を向けるようになり、直接的な利益だけでなく、将来の会社のブランドディングにもサポートできるようになったそうです。

リサイクルショップや飲食店、AIやアプリ開発など、全体の事業は多岐にわたる長綱さん。自分と関わることで少しでも幸せになってもらいたいという思いのほかに、「福祉がまちをオモシロク」

ク、「マーケティングでまちをオモシロク」をコンセプトに、関係人口と選択肢を増やしていくことを目標にしているそうです。「人口減少が著しいこの真庭市で、市内だけでなく市外の人もコミュニケーションをとり、暮らしやすくそして魅力あるまちや会社、人を形成していきたいような仕組みができたら」と語ります。長綱さんの支援は、まだまだ続いています。

